

「次世代ホームネットワーク実証実験 2010」募集要項

1 概要

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム・ホームネットワークワーキンググループでは、平成 18 年度より総務省「情報家電の高度利活用技術の研究開発」及び「消費エネルギー抑制ホームネットワークの研究開発」と連携して、AV 系家電、白物家電などの分野ごとに異なる通信方式を吸収し、あらゆる情報家電を自在に接続して制御できるホームゲートウェイ等について検討を進めてまいりました。

本年度は、ホームネットワークにより接続された様々な家電機器を活用し、ブロードバンドネットワークを通じて、消費エネルギー抑制をはじめとしたサービスを実現することを想定した実証を「次世代ホームネットワーク実証実験 2010」として実施致します。

つきましては、より多くの情報家電などの端末、ネットワークを通じたアプリケーションやサービスなどを活用した実証を行うため、本実証実験の参加者を広く募集することとします。

2 実験項目

① 次世代ホームネットワーク全体実証実験

ホームネットワークにより接続された端末から、ブロードバンドネットワーク越しにホームネットワーク向けに提供されるサービスまでをカバーする新たな通信インフラとしての次世代ホームネットワーク全体の実証実験

② ホームネットワーク関連機器の相互接続試験、展示

ホームネットワークを構成する機器に関する相互接続試験及び関連機器の展示

3 実証実験の概要

(1) 主催者

(独) 情報通信研究機構、次世代 IP ネットワーク推進フォーラム、北陸先端科学技術大学院大学

(2) 後援

総務省 (予定)

(3) 場所 (予定)

いしかわサイエンスパーク内 (石川県能美市旭台二丁目)

(4) 期間

平成22年3月3日 (水) ～ 5日 (金) の3日間 (うち1日間を公開)

4 参加・出展の条件

本実証実験への参加にあたって、条件は以下のとおりです。

(1) 次世代IPネットワーク推進フォーラムのホームネットワークワーキンググループに参加すること。

※ 応募後の加入 (無料) も可能です。

次世代IPネットワーク推進フォーラムのホームページアドレスは、以下のとおりです。

<http://ngnforum.nict.go.jp/>

- (2) 実証実験参加の意思表示ののち、本実証実験の実行委員会（平成21年12月に設置予定）に参加し積極的に協力すること。（平成21年12月から6回程度、東京にて開催予定）
- (3) 参加に係る全ての費用は、参加者が自己負担すること。
- (4) 一部の要素技術だけではなく、システムやサービスとしての提案を行うこと。他者との組み合わせによる提案も可能。
- (5) 秩序を守り、危険物等、他の実験に支障をきたす機材を持ち込まないこと。
- (6) 法令等を遵守すること。

5 応募の締切り

平成 22 年 1 月 18 日（月） 17 : 00 必着

6 応募の方法及び取り扱い

ご提出に際しては、NICT ホームページの報道発表資料に掲載される下記のアドレス

(<http://www2.nict.go.jp/pub/whatsnew/press/h21/091216/091216.html>)

から、電子データをダウンロードし、「別紙 2」の「次世代ホームネットワーク実証実験 参加申込書」（MS Word 形式）に、必要事項を日本語にてご記入の上、電子メールにより、「7」の提出先にお送り下さい。

応募された実証実験の内容等については、応募締切り後、参加が決定した方について、取りまとめて公表する予定です。その際、応募された方の企業名等に関する情報も併せて公表いたします。また、ご提出頂いた書類等の返却はいたしません。

なお、実証実験の会場の都合上、全ての応募者が参加できない場合は、次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの会員（平成 21 年 12 月 18 日現在の会員）を優先させていただくほか、企業・団体・個人を随時選考させていただくことがありますので、あらかじめ御了承下さい。

7 提出先等

あて先 次世代ホームネットワーク実証実験事務局

送付アドレス 09HNDemo@ml.nict.go.jp